

# 藤沢市における ホワイトスペース活用の提案

藤沢市

# 始めに

- 市内 & 市外の人への接点の拡充
- 産業、観光、シティブランド等の発信
- 情報配信・声なき声を集める契機
- 行政単独ではない新しい公共の形



## ホワイトスペースの制度的・技術的課題

- 制度上使用技術がどう位置付けられるか
- 近隣周波数帯の利用者、業者との共存
- 使用技術は「いつ」「どこまで」「どれだけの容量」で通信できるか。

## ホワイトスペースのビジネスモデル的課題

- 「施設」や「設備」をどう維持するか
- サービス提供手法は利用者にとって満足するものか、使ってもらえるものか

# 現実的課題

## ユーザエクスペリエンスの検討

- 「わくわくするから」「楽しいから」「便利だから」といった**経験・体験**が重要
- 「それ」が「利用者」の中で「**どういう文脈**」で使われ、どう感じるか？ということに大事にする。
- それを使っている時のみでなく、利用を考えるきっかけ、物を買うとき、箱を開けるとき、組み立てるときなどそれと「**関わる全ての所**」で起きている。
- **ユーザエクスペリエンス**にきちんと力を回せるか、柔軟に対応できるか。

# 湘南における消費者視点ラボ

- **ユーザの分析** (ユーザの話を聞いたり、ユーザの普段の行動を観察したり) を行うことで **ニーズを発掘し**、サービス・製品開発の支援を行う場所

## 消費者視点 ラボ



営業:顧客企業窓口  
(企業の企画から調査ポイントの設定  
分析結果を企業に説明)



専門家(調査ポイントの詳細設定、  
ユーザの観察結果の分析)



モデレーター:テストユーザとの窓口  
(ユーザの観察、テストユーザとの対話)

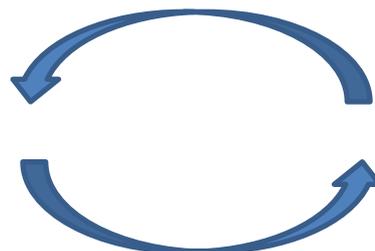


ユーザプラットフォーム  
(テストユーザ募集)  
ファシリティ  
(部屋・機材)



コンセプトやプロトタイプ  
の調査依頼

企業



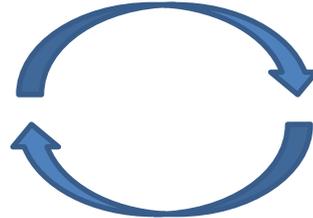
ニーズや改善点の報告



# (提案) 実証実験支援エリア

企業・大学等  
研究開発・実証実験実施者

開発・実証実験  
・コンセプト



ニーズや改善点の報告

実証実験支援  
グループ



ユーザの観察  
インタビュー  
行動分析



場所・人の紹介

- **利用者視点からのアプローチ(ユーザーテストや行動分析等)**をコーディネート出来るようにすることで、湘南エリアにて、新たな無線機器の開発や利用の普及へのアプローチをよりいっそうスムーズに行える環境を整える。
- 実験エリアの地域に詳しく、**実験局の設置場所等の相談の出来る実証実験コミッショナー**が必要。
- UHF帯、ミリ波等の代表的な電波の周波数のいくつかにおいてエリア限定、時間限定等で使用可能な電波出力をもうけ、型等はある程度フリーにするもしくは、実験局として使用できる代表的な型をいくつかそろえておくことで実験局の運用を柔軟に行い、**実証実験を容易に行えるエリアを作成する。**(特定実験試験局制度的)

これらのプラットフォームのもと地域のニーズもとらえつつ企業等と湘南にて実証実験

# エリアにおける実証実験例その1

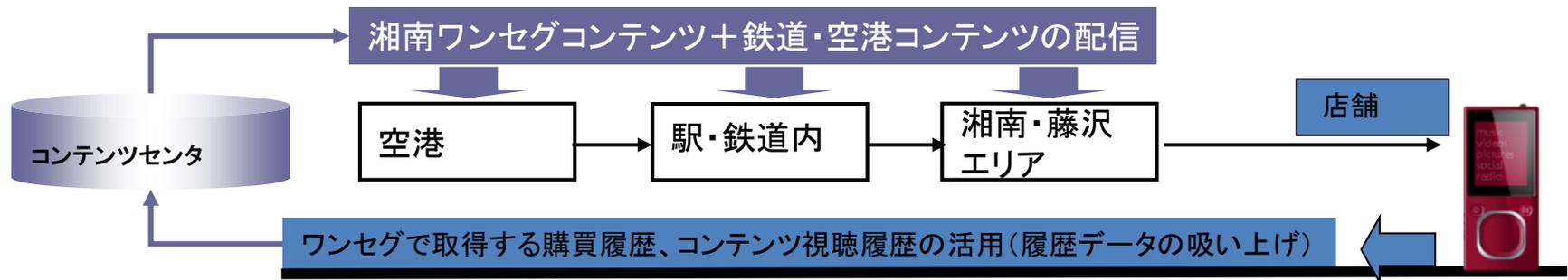
## 藤沢の観光等を資源にした エリアワンセグサービス等

### <背景>

- 江の島:32位 湘南:14位
  - 日経リサーチ「2008地域ブランド戦略サーベイ」
- 年間407万人(海水浴客等)
  - 藤沢市2009ワンポイント指標
  - 1人あたりの購買量が1000円増加で約40億円の効果
  - 来客2割増加、1人3000円の消費で約24億円の効果
- 年間1340万人(観光客数)
- 1日平均40万人(藤沢市内の駅(JR等)の乗降客数)
  - 藤沢市2009ワンポイント指標
  - そのうち3パーセントの人が1500円消費したとして約44億円

# (例1) 観光

- 観光者の出発地・移動経路・目的地での一貫した広告情報の提供
- エリア型ワンセグを最寄り駅、空港、途中駅・鉄道等の旅行者の通過点および観光地等の旅行者の目的地にて実施しブランド(商品、イベント、サービス等)の告知やインターネットを介した予約等を実施し、国内外の旅行者の集客と消費向上を計る。
- デジタルサイネージと共同運用することで相乗効果を高める。
- 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出と発信、シティブランドの発信



## [市にとっての課題]

ビジネスモデルの検討

事業者における検討

# (例2) 前述のプラットフォームを用いた 地域経営のためのコミュニケーション



普段使うところにある  
サインージからの発信



携帯やネットを介して記事  
投稿、意見の送付



- 地域分権として地域住民による自主的な地域運営を行うためのコミュニケーションツール
- 各地域別のコンテンツを配信：地域毎に表示内容を変更することで、地域経営のための情報を発信。
- 地域イベント情報、災害発生時の緊急速報、防犯情報等の配信
- ネット配信との連携による自宅でのコンテンツ取得
- 声の大きい人のみでない地域の議論の喚起

# まとめ

- ビジネス開発からの協働
- 市内&市外の人への接点の拡充
- 産業、観光、シティブランド等の発信
- 情報配信・声なき声を集める契機
- 行政単独ではない新しい公共の形



# 藤沢市総合計画基本構想

- 総合計画審議会(2010年2月)にて答申
- 基本構想:「私たちの政府」宣言
  - 「私たちの政府」が創る、いまでも未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」
  - 市民の力が育てる生活充実都市
    - 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち
    - 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち
  - 創造発信都市
    - 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出
    - 都市構造の再構築と地域経済の活力再生

